

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわり磐田岡田校			
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日 ~ 令和6年 10月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日 ~ 令和6年 10月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 10月 29日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員の思いの共有ができるおり、ベクトルが同じ方向を向いていて、協力して支援できている。 ・チーム力が高い。	・積極的な情報共有、意思疎通をしている。（情報ツールの活用） ・日頃からの管理者の思いの発信。 ・職員の年齢構成に偏りがないこともチーム力の一因。い。	・校舎会議に十分な時間が取れていないので、時間確保と定期的な実施。 ・保護者に理解していただくためのさらなる情報発信。
2	・外部と連携しての様々な体験ができている。	・積極的な外部資源の活用と情報収集。 ・積極的な外部とのコミュニケーションを意識している。	・連携先の拡大と保護者や利用者のニーズを確認する。
3	・保護者との積極的なコミュニケーションをしている。	・その日にあったことは、良い点も悪い点も必ず伝え、一緒に考える。 ・連絡帳やHUGのメール機能などを積極的に活用。 ・ブログやインスタでの思いの発信。	・保護者への情報発信の工夫。 ・SNS等の発信などは定期的に行っているため、見てもらうための工夫と啓蒙。 ・HUG活用のさらなる充実。ツールの一元化。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内活動の工夫が必要。	・遊びを通じたコミュニケーションの向上や社会性を身に付けることに、主眼を置いていて、天気がいい日は外で元気に遊ぶという考え方である。	・室内でもできることを工夫して、取り入れていく。 ・その子の合う、室内でもできることに取り組む。
2	個の活動になっている。	・子どもたちの特性上、この活動になるケースが多いので、短い時間でもいいから、集団遊びや集団でのレクリエーションができるようになればと考える。	・集団での遊び。 ・集団でのレクリエーション的活動。
3	日々の活動は計画性に計画性を持たせる。	・外活動が多くいため、天候に左右される面がある。 ・各学校の下校時間との兼ね合いで難しい面もある。	・一定の内容をルーティン化して行う。 ・そこに室内活動も定期的に入れる。